

# 今、人生真っ盛り —電気の守り、現代人の生活を守る—



海 31期 中矢 潤

## 1 電験三種との出会い

私が「電気主任技術者」の道に関心を持ったのは、40歳の頃。民間の電気工事士の友人に電気回路の問題を解説した際、「これは電験三種の理論の問題です。電験3種の資格があれば、80歳台の人も現役で働いており、一生食いっぱぐれませんよ。」と言われたのがきっかけでした。彼の言葉に背中を押され、独学で3年。45歳で電験三種を取得しました。この資格が後に、第二の人生を支える大きな柱になっていきます。

## 2 定年退職と最初の挫折

2019年6月、海上自衛隊幹部学校の教官が最終の職で、海上自衛隊を1等海佐で定年退職した。海幕の援護からの紹介で入社したビル管理会社では、夜勤や長時間勤務に加え、電気主任技術者としての実務経験も積めないと分かり、2019年10月に退職し次なる道を模索することとなります。

## 3 困難な道を選んだMBA挑戦

海上自衛隊の定年3年前、所属する部隊で英語で書かれた文章を読んで分析する仕事に従事していたこともあり、TOEICで700を超えるレベルになったことから定年後の生活を見据え、「米国MBAを取得」するか、「電験2種の取得」どちらに努力を傾注するかを思案しました。最終的に「悩んだら困難な道を選べ」という信条のもと、米国MBAに挑戦することを決意しました。米国MBA取得への挑戦にあたり、横須賀市と米海軍の提携によるブリッジプログラム（約1年半）に参加。英語論文の書き方（アカデミックライティング）などを徹底的に学び、メリーランド大学の大学院のMBA課程へ進学する基礎を築きました。

## 4 全て英語の米国MBA履修

2019年10月から2021年3月までの約1年半、横須賀米海軍基地内でメリーランド大学のMBAを履修しました。このMBAは、米国軍人向けのリタイアメントプログラムの側面もあるため学費も非常に良心的で、当時の為替相場を考慮しても総額130万円ほどで修了できました。このMBAで得た知識や視野が、後の電気管理技術者としての独立開業への明確なビジョンにつながりました。なお、メリーランド大学では、毎年10月下旬にニュー山王ホテルで同窓会が開催されます。友人も同窓会に呼べるとのことで、今年、2025年は防大同期の陸の飯田君に同席してもらいました。



2021年MBA履修の卒業証書（チラ見せではありません！）とメリーランド大学のアレン教授との写真



2025年10月25日ニュー山王ホテルのメリーランド大学の同窓会 防大同期 陸 飯田君とメリーランド大学の教授

## 5 就職難とコロナ禍を乗り越えて

2020年春、塾講師として採用が決まりましたが、コロナ禍により雇用が白紙になりました。そのため、三浦市役所で特別定額給付金（いわゆる10万円の給付）の業務に3ヶ月従事しました。そこでは、電話で市民からの苦情対応もすることから困窮する人々の声を聞き、「社会に役立つ仕事とは何か」を改めて考える機会となりました。

2020年6月に、「電験三種・年収400万・残業なし」の求人を見つけ応募。住友不動産のビルの電気主任技術者として採用されました。

そこでの仕事は、ビルのサービスセンター内で勤務し、ビルの年次停電、消防設備点検等の調整、ビル内の不具合事項の解消等、海上自衛隊の現役時の艦艇の不具合事項の是正と類似点も多くありました。自衛隊での当たり前を実践したこともあり、2023年度には住友不動産の1000人超の係員の中から約20名の年度優秀係員にも選ばれました。



住友不動産ビル係員防災センターでの勤務

## 6 電気管理技術者として独立

法改正により従来の「実務経験5年」から「実務経験3年＋管理講習」で電気管理事務所として独立が可能になったことから退職を決意し、2024年8月に円満退社。2024年10月、ついに40歳の頃からの夢だった「電気管理技術者としての独立開業」を果たしました。現在は、日本テクノの協力を得て業務を開始。点検調整、報告書作成、事故分析など、自衛隊時代の経験が活かせる場面が多く、体力負担も少ない仕事です。



電気管理技術者としてのキュービクルの点検中

## 7 電気という“神の火”を守る誇り

電気が現代文明を支える“神の火”だと私は考えます。例えば何万人を収容するアリーナでの音響や照明を、2000年前の人々が見たら、きっと、「神のみわざ」だと感じたことでしょう。今やAIやコンピュータも、すべて電気がなければ成り立ちません。この“神の火”を守る役目に、私は誇りを持って取り組んでいます。

## 8 人生100年時代、これからも

私は現在61歳。この先20年、80歳を超えても電気管理技術者として働きたいと願っています。自衛官としての経験、MBAでの学び、民間企業での実務、そして現在の独立。すべてが繋がりに、今の自分があります。

「今、人生真っ盛り」——そう胸を張って言える日々を、これからも大切に歩んでいきます。